

技術・家庭(家庭分野) 1年

はじめに

技術家庭(家庭分野)では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題をみつけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

年間計画

題 材	学 習 の 内 容
家庭分野ガイダンス	・ 小学校の学習を振り返り、中学校三年間で学びたいこと、生活に生かしたいことをまとめる。
A 家族・家庭と子どもの成長 ・ 私の成長と家族 ・ わたしたちと家族・家庭と地域	・ 自分の成長を支えてくれた人々との関係を考える。 ・ 家庭の働きと家庭生活を支える家庭の仕事を理解する。
C 衣生活・住生活と自立 ・ 自分らしく着る・快適に着る ・ 生活を豊かにする物を作る ・ 快適に住まう	・ 衣服のはたらきや役割を考える。 ・ 衣服の選択、日常着の着用、手入れの仕方を理解する。 「日常着の手入れをしよう」レポート 「洗濯機を使って洗濯しよう」レポート ・ 基本的な縫い方や補修の方法を生かしながら、布を使った作品を作る。 「基礎縫いディスクファイル」の製作 ・ 家族の住空間と基本的な機能を知る。 ・ 住まいの安全対策を考える。 ・ 快適な室内環境を考える。 「住まいのそうじをしよう」レポート

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。

・授業の受け方

- * チャイムがなるまでに準備をし、着席しておこう。
特に移動教室の場合遅れないようにしよう。



- * 忘れ物をしないようにしよう。教科書・ノートが基本ですが、裁縫道具や色鉛筆などが必要になることがあります。プリントをはるためののり・はさみも持ってきてましょう。忘れ物をした場合は自分で先生に報告するようにしましょう。
- * 私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- * 学習した内容を自分の生活に返しながら、「なぜそうなるのか」「どうすればよくなるのか」をよく考えよう。考えたことは学習プリント等にしっかりと文章表現することも大切です。
- * ノートをわかりやすくまとめよう。授業で使用したプリントは学習した順に重ねないようにノートにはっぺいこう。(欠席した場合は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどしてまとめておこう。)
- * 提出物は決められた日までに必ず提出しよう。



・評価について

評 価 の 観 点	評 価 の 資 料 ・ 対 象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。ノートをていねいにまとめ、プリントをきちんとはっているか。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	学習プリントや宿題の内容が生活に役立つ工夫した内容になっているか。作品に工夫がみられるか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、作品の完成度はどうか。学習プリントや宿題の記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

* 技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも…

学習した内容を家庭でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

家庭科は、自分の生活を見直し、よりよくするためにどうすればよいかを工夫し、実践する教科です。「どうすれば使いやすくなるかな」「こうしたらもっとおいしくなるかも」など、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしましょう。三年間の学習の後には、自分でできることが今よりもっとふえていることを目標に!

技術・家庭(家庭分野) 2年

はじめに

技術家庭(家庭分野)では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題をみつけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

年間計画

題材 B: 食生活と自立	学習の内容
健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の食生活に関心を持ち食事の役割を知ろう 健康に良い食習慣について考える。 栄養素のはたらきと水や食物繊維のはたらきを理解する。 食品と栄養素、食品群の関係を理解する。 中学生に必要な栄養の特徴について考える。 中学生に適した一日分の献立を考える。
食品の選択と保存	<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品、加工食品の特徴を理解し、用途に応じた正しい選び方や保存方法を知る。
地域の食材と食文化	<ul style="list-style-type: none"> 行事食や郷土食を知る。 「日本の行事食を調べよう」レポート 食糧事情に目をむけ、食生活と環境との関連を意識する。
調理をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 調理に関する基礎・基本となる知識や技術を知る。 調理用具の正しい使い方を理解する。 学習したことを生かして、日常食の調理をする。 「調理実習」 「食事づくりに挑戦しよう」レポート

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。

・授業の受け方

- *チャイムがなるまでに準備をし、着席しておこう。
- 特に移動教室の場合遅れないようにしよう。



- *忘れ物をしないようにしよう。教科書・ワークノートが基本ですが、エプロンや色鉛筆などが必要になることがあります。プリントをはるためののり・はさみも持ってきてきましょう。忘れ物をした場合は自分で先生に報告するようにしよう。
- *私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全と衛生に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- *学習した内容を自分の生活に返しながら、「なぜそうなるのか」「どうすればよくなるのか」をよく考えよう。考えたことは学習プリント等にしっかりと文章表現することも大切です。
- *ノートをわかりやすくまとめよう。授業で使用したプリントは学習した順にワークノートにはっていこう。(欠席した時は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどして書いておこう。)
- *提出物は決められた日までに必ず提出しよう。



・評価について

評価の観点	評価の資料・対象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。ノートをていねいにまとめ、プリントをきちんとはっているか。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	学習プリントや宿題の内容が生活に役立つ工夫した内容になっているか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、はどうか。学習プリントや宿題の記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

*技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも…

学習した内容を家庭でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

家庭科は、自分の生活を見直し、よりよくするためにどうすればよいかを工夫し、実践する教科です。今年学習する「食生活」は、成長期であるみなさんにとって、健康的な生活をおくるためにとても大切な内容です。自分でできることを見つけて、いろいろなことにチャレンジしましょう。自分で料理ができるようになるかな？

技術・家庭(家庭分野) 3年

はじめに

技術家庭(家庭分野)では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題を見つけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

年間計画

題材：ともに生きるわたしたち	学習の内容
わたしたちの消費と環境	<ul style="list-style-type: none"> 商品の選択方法やいろいろな販売方法と支払方法について理解する。 消費者の基本的な権利と責任と消費者保護について理解する。 環境に配慮した消費生活の工夫をする。 「環境や資源に配慮した生活実践」レポート 小物の製作 (3学期の製作になるかもしれません)
わたしたちのよりよい生活	
わたしたちの成長と家族・地域	<ul style="list-style-type: none"> 幼児の生活と遊びを知る。 遊びを通して育つ力について理解する。 幼児のこころと身体の発達について考える。 幼児の生活習慣とその習得について考える。 幼児とのかかわりかたを工夫する。

教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。また、3年生では、技術分野、家庭分野の授業がそれぞれ隔週になります。

・授業の受け方

- *チャイムがなるまでに準備をし、着席しておこう。特に移動教室の場合、遅れないようにしよう。
- *忘れ物をしないようにしよう。教科書・ハンドノートが基本です。ハンドノートの後ろのページに学習プリントをはったり、板書をまとめたりしよう。プリントをはるためののり・はさみも持ってきてきましょう。これ以外に必要なものがある場合は、授業で連絡します。忘れ物をした場合は自分で先生に報告すること。

- *私語をせず、授業に集中しよう。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しよう。
- *学習した内容を自分の生活に返しながらか、「なぜそうなるのか」「どうすればよくなるのか」をよく考えよう。考えたことは、ハンドノートや学習プリント等にしっかりと文章表現することが大切です。
- *授業で使用したプリントは学習した順に見やすくハンドノートにはっていこう。(欠席した時は、次回授業までにクラスの人にみせてもらうなどして書いておこう。)
- *提出物は決められた日までに必ず提出しよう。



・評価について

評価の観点	評価の資料・対象
①生活や技術への関心・意欲・態度	意欲的に授業に取り組んでいるか。私語なく授業に集中しているか。忘れ物がないか。ノートをていねいにまとめ、プリントをきちんとはっているか。提出物は期限までに提出できたか。
②生活を工夫し創造する能力	学習プリントや宿題の内容が生活に役立つ工夫した内容になっているか。
③生活の技能	正しい手順で作業ができているか。技能の習熟度、はどうか。学習プリントや宿題の記入状況や内容の充実度はどうか。
④生活や技術についての知識・理解	定期テストなどの出来具合はどうか。

*技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

・家庭でも…

学習した内容を家庭でどんどん実践してみよう。課題を見つけ、進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。

おわりに

家庭科は、自分の生活を見直し、よりよくするためにどうすればよいかを工夫し、実践する教科です。社会情勢にも興味関心をもって情報収集しましょう。

三年間のまとめとして、今よりさらに自立した生活ができるように、また、技術力・判断力が高められるように学習を進めていきましょう。